

アルゴリズム  
第6回授業  
“引数と返却値”  
(教科書 Page 34-42)

山口雅樹 (CISSP)

<https://github.com/masakage/algorithm>

# 本日の進め方

- ・ 前回の復習（条件分岐）
- ・ 引数と返却値
- ・ 配列と繰り返し処理
- ・ まとめ

# 1-7 引数と返却値 (WIKIより)

引数（ひきすう）は、コンピュータプログラムにおける手続きにおいて、その外部と値をやりとりするための特別な変数、あるいはその変数の値のことである。

戻り値とは、プログラム中で呼び出された、関数、メソッド（クラス）、サブルーチンなどが処理を終了する際に、呼び出し元に対して渡す値の事である。

# 関数の呼び出しについて（引数と返却値）

○プログラム名：関数呼び出し /\* 教科書 34ページサンプル \*/

○整数型：Ret

●Ret ← Cmp(5,3)

●表示処理(Ret)

●Ret ← Cmp(2,6)

●表示処理(Ret)

○整数型：Cmp(整数型：a,整数型：b)

**関数**

▲a > b

| ●return(a)

+-----

| ●return(b)

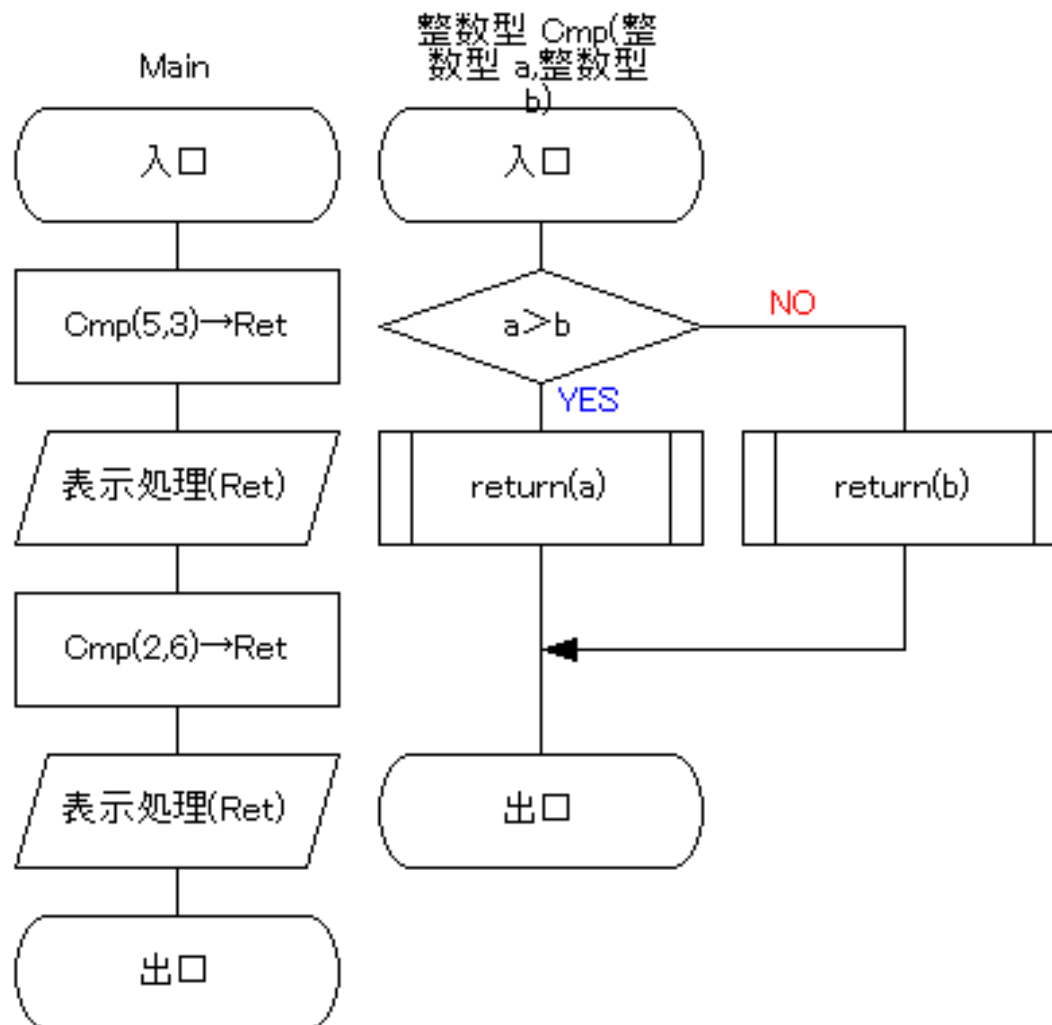
▼

デバッグメッセージ / 出力:

実行..

5

6



# 関数 (A,B,Cから最大値と求める)

○プログラム名：関数呼び出し /\* 教科書 35ページサンプル \*/

○整数型：Max

●Max ← DispMax(10,20,30)

●表示処理(Max)

○整数型：DispMax(整数型：a,整数型：b,整数型：c)

○整数型：Max

▲a > b  
| ●Max ← a  
+-----  
| ●Max ← b  
▼

▲Max < c  
| ●Max ← c  
▼

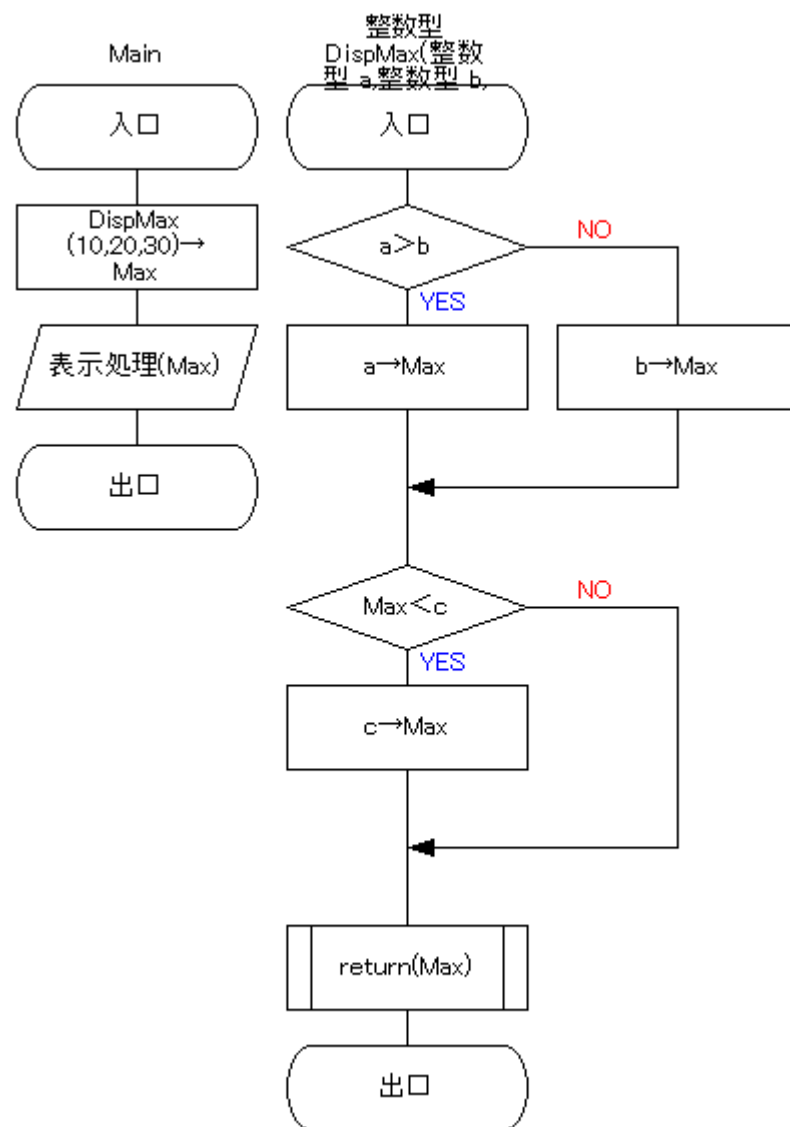
●return(Max)

関数

デバッグメッセージ / 出力:

実行..

30



# 関数 (入力値から求める)

○プログラム名: 関数呼び出し /\* 教科書 35ページサンプル 桁数計算\*/  
○整数型: Digit

●Digit ← GetDigit (1000)  
●表示処理(Digit)

○整数型: GetDigit(整数型: Val) **関数**

○整数型: Digit, Limit

▲Val < 0

| ●Val ← Val × (-1) **条件**

▼

●Digit ← 1

●Limit ← 10

■Limit ≤ Val

| ●Digit ← Digit + 1 **繰り返し**

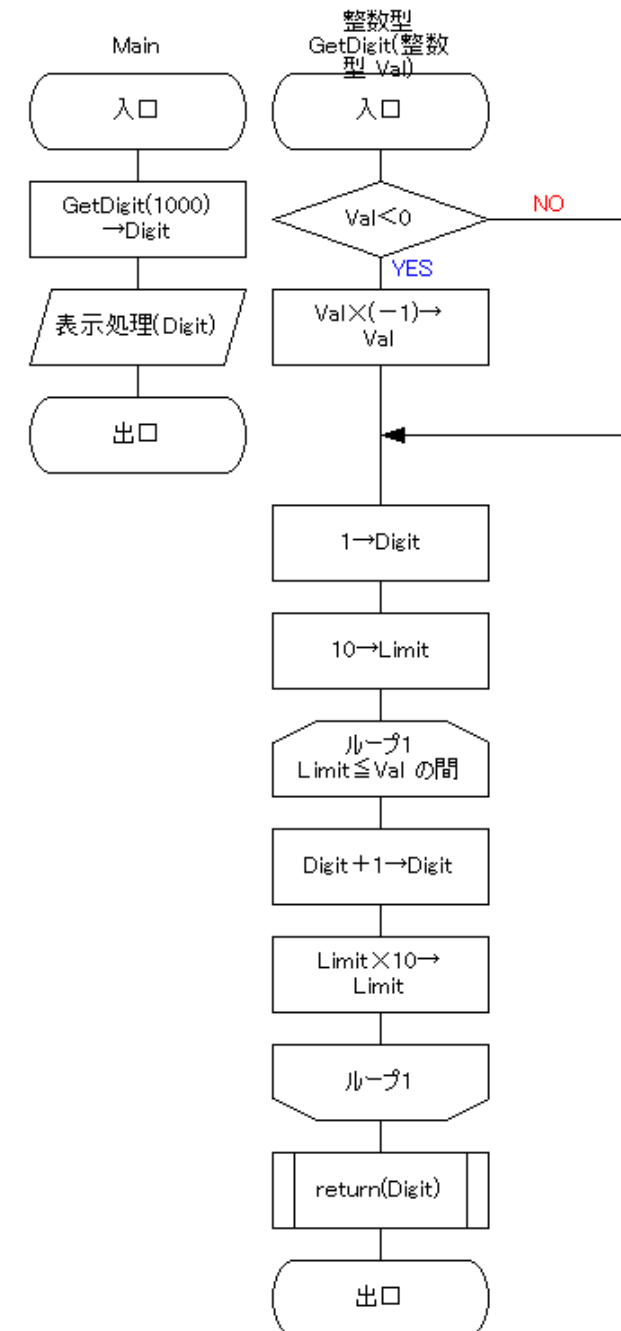
| ●Limit ← Limit × 10

□

●return(Digit)

デバッグメッセージ / 出力:

実行..



# 1-8 配列と繰り返し処理 (WIKIより)

複数の要素（値）の集合を格納・管理するのに用いられるデータ構造が配列である。

1次元の配列は特に線形配列 (linear array) とも呼ばれる。メモリ空間でもまとめて管理されているので効率がいい。また、繰り返し処理を行いやすい。

平均点を求める場合、ループを使いたい。。  
しかし、配列がないと、生徒が増えたときに大変。。

# 1-8 配列と繰り返し処理

配列の添え字 C#に合わせて 0 から始まります。

A[0] A[1] A[2] A[3] A[4] A[5] A[6] A[7] A[8] A[9] (合計10個)

配列の宣言

整数型：A[10] (実際は、A[0]からはじまって、A[9]まで)



# 40ページのプログラムについて

○プログラム名: 配列と繰り返し /\* 教科書 40ページサンプル \*/  
○整数型: A[10]

```
●A[0] ← 0  
●A[1] ← 0  
●A[2] ← 0  
●A[3] ← 0  
●A[4] ← 0  
●A[5] ← 0  
●A[6] ← 0  
●A[7] ← 0  
●A[8] ← 0  
●A[9] ← 0
```

```
●表示処理(A[0])  
●表示処理(A[1])  
●表示処理(A[2])  
●表示処理(A[3])  
●表示処理(A[4])  
●表示処理(A[5])  
●表示処理(A[6])  
●表示処理(A[7])  
●表示処理(A[8])  
●表示処理(A[9])
```

デバッグメッセージ / 出力:  
実行..

```
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0
```

20行にもなる！

○プログラム名: 配列と繰り返し /\* 教科書 40ページサンプル \*/  
○整数型: A[10]  
○整数型: Idx

```
■Idx: 0, Idx < 10, 1  
|   ●A[Idx] ← 0  
|   ●表示処理(A[Idx])  
□|
```

4行ですみます！

デバッグメッセージ / 出力:  
実行..

```
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0  
0
```

# 平均点の算出 (教科書40Page Example)

```
○プログラム名: 平均点 /* 教科書 40ページサンプル */
○整数型: Ten[5]
○整数型: Idx
○整数型: Gokei
○整数型: Heikin

●Ten[0] ← 36
●Ten[1] ← 80
●Ten[2] ← 100
●Ten[3] ← 92
●Ten[4] ← 64

●Gokei ← 0

■Idx: 0, Idx < 5, 1
|   ●Gokei ← Gokei + Ten[Idx]
□

●Heikin ← Gokei ÷ 5
●表示処理 ("合計")
●表示処理(Gokei)
●表示処理 ("平均")
●表示処理(Heikin)
```

デバッグメッセージ / 出力:

実行..

合計  
372  
平均  
74

# 配列への代入 (教科書41page Example)

○プログラム名：代入 /\* 教科書 41ページサンプル \*/

○整数型：A[100]

○整数型：Idx

■Idx : 0, Idx < 100, 1

| ●A[Idx] ← Idx + 1

□



■Idx : 0, Idx < 100, 1

| ●表示処理(A[Idx])

□

実行結果

1

2

3

4

省略

98

99

100

# 配列のコピー (教科書41page Example)

○プログラム名：配列コピー /\* 教科書 41ページサンプル \*/

○整数型：From[10]

○整数型：To[10]

○整数型：Copy(整数型：From[])

○整数型：Idx

○整数型：To[10]

■Idx : 0, Idx < 10, 1

| ●To[Idx] ← From[Idx]

□

●return(To[])

From[0] From[1] From[2] From[3] From[4] From[5] From[6] From[7] From[8] From[9]



To[0]

To[1]

To[2]

To[3]

To[4]

To[5]

To[6]

To[7]

To[8]

To[9]